

み の む し さ ん じ ん

蓑虫山人の足跡を訪ねて

— 一関・平泉 —



蓑虫山人60歳の写真(明治28年4月撮影)
(名古屋市長母寺蔵)

蓑虫山人は、天保7年(1836)美濃国安八郡結村(現岐阜県)に生まれ、14歳のときに郷里を出て以来、48年間にわたって諸国を放浪し、その足跡は全国各地に残されています。

東北へは、明治10年(1877)に初めて足を踏み入れ、一関周辺については、明治24年から27年頃に訪れた記録を残しています。その記録からは、鉄道が開通し、製糸業や酒造業などで財をなした明治という新時代の勢いが感じられます。また、蓑虫山人は、人類学にも関心を寄せており、今でいう考古資料を拓本の技法も使いながら記録し、各地の風俗をスケッチしました。旧東磐井郡の住宅の造園にも関わるなど多彩な知識と全国放浪の見聞は、土地の人々に歓迎され、親しく交流を持っています。

菩提寺である名古屋市の長母寺に「蓑虫山人絵日記」、秋田県立博物館に「蓑虫山人画紀行」が所蔵されており、それらとともに、市内に残る作品や、考古資料をはじめとするゆかりの品を紹介します。



西磐井郡一関町市中の図(「蓑虫山人絵日記」より)



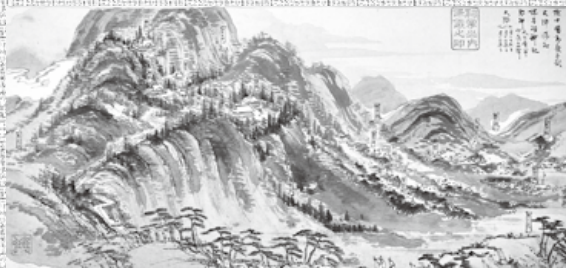
清泉楼の図(一関市千厩町)(個人蔵)



拓本 中尊寺仏器(平泉町)(「蓑虫山人絵日記」より)



硯屋(一関市東山町)
(「蓑虫山人画紀行」より)



保呂羽神社(一関市藤沢町)
(「蓑虫山人画紀行」より)

一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215番地1
TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006
<http://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp>

開館時間 ● 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 ● 毎週月曜日

入館料 ● 一般 300円(240円) 高校生・大学生 200円(160円) 中学生以下 無料

※()内は団体(20名以上)割引料金

次の方々の入館料は免除となります。

・障がい者・介護者の方(障がい者手帳などを提示願います。)

・65歳以上の一関市民の方(年齢・住所が証明できるものを提示願います。)

